

■読みに困難のある子どもたちへの実践事例

マルチメディアDAISY図書を活用して、読みに困難のある子どもも楽しめる読書活動にしていく取り組み ―4年次

島根県安来市立南小学校

秋田治美、久保井かおり

はじめに

マルチメディアDAISY図書を活用して、今年度は4年目になりました。今年度も、読みに困難を感じている子どもたちに、マルチメディアDAISY図書を活用することで、本を読むことの楽しさを味わわせたいと思います。また、書いてあることの要点や感想を簡単な文章でまとめたりする活動も続けたいと思います。

マルチメディアDAISY図書の活用を始めた当初の子どもたちも高学年になり、本校の図書館では、全校への周知も子どもたち自身が行うようになってきました。子どもたちにとって身近な図書コーナーになってきているように思います。今年度は、高学年が低学年に教える取り組みや、iPadを使った取り組みも行っていこうと思います。



マルチメディアDAISY図書コーナー

活用にあたって

読書の楽しみは、何といても本に書かれている内容がわかるということです。読むことに困難のある子どもにとっては、文字を読むことが精一杯なために、内容を理解するところまでは気持ちが続きにくい様子が見られます。

昨年度までの取り組みから、読むことに困難のある子どもがマルチメディアDAISY図書を活用して、目からだけでなく耳からの情報も取り入れ、内容のおもしろさに触れることができることで、本に向かう気持ちも高まることを感じてきています。

また、こうした子どもにとって、みんなと一緒に取り組むことが、より意欲を高めることも感じています。

今年度は、みんなと一緒に取り組むだけでなく、個別に取り組む時間も計画的に取り入れていきたいと考えています。

活用の実際

年度当初に、年間の活動についての

予定を立て、職員会議で全職員に周知しました。特に今年度は、学校司書のいる朝読書の時間を使って、個別での継続した取り組みも計画しました。また、全校児童への周知は、昨年度は、子どもたちが行ってきましたが、今年度も、マルチメディアDAISY図書の一覧表を使いながら行いました。



マルチメディアDAISY図書一覧

(1) 月ごとに実施する学年を決めての取り組みと様子

これは、マルチメディアDAISY図書を活用してから継続して取り組んでいる活動です。今年度は、2年生から4年生までの学年で実施しました。それぞれの学年にふさわしい選書を学校司書が行い、使用するワークシートもポイントをしぼって指導をしました。

2年生では、『11ぴきのねこ』シリーズを視聴しました。登場するものや話の筋がわかりやすく、感想がもちやすいと感じたからです。ワークシートには、お話を読んでどう思ったのかを書くようにしました。

3年生は、『ふらいぱんじいさん』『リンゴのたび』『銀のうでわ』『ちい

さいおうち』など、絵本を中心に主人公がわかりやすい本を選びました。ワークシートは、気持ちを表す言葉をあらかじめ書いておき、それを参考に「どう思ったのか」を書くようにしました。

4年生では、『一休さん』『ぼくち豆腐屋』『発明・発見した人の伝記』『怪談オウマガドキ学園』など、物語を中心に伝記や短編集なども取り入れました。ワークシートは、3年生と同じポイントで指導しました。

読むことや書くことに苦手さを感じている子どもも、みんなと一緒に取り組むことや同じワークシートを使っての取り組みを2回することで、見通しをもち、安心して活動をしていたように思いました。

(2) 高学年(5年生)が低学年(1年生)に教える取り組みと様子

5年生と1年生がペアになって取り組みました。5年生は、2年生の時から毎年継続して取り組んでいることもあり、ワークシートの書き方やパソコンの使い方を丁寧に教えていました。5年生は、相手にわかりやすく伝える工夫を考えたり、ワークシートを書く際のポイントについて確認したりできているように思いました。ひらがなを書く際に困っている子どもに、ひらがな表を使いながら文字を教えている子

どもに感想を聞くと、「教えた文字を1年生が一生懸命に書いてくれてうれしかった」と話していました。1年生のほうも「難しかったけど、お姉さんが字を教えてくれてうれしかった」と話していました。ペアでの活動を通して絆が深まることは、お互いをわかりあい、学び合うことにもつながるように感じています。



ペアでの取り組み

(3) iPadを使った取り組みと様子

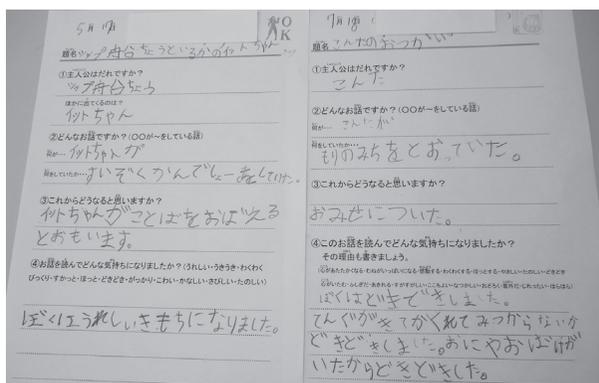
今年度は、朝読書の時間を使って、読むことや書くことに困難を感じている2人の児童に、iPadで関心のあるお話を視聴してワークシートを書く取り組みを継続して行いました。iPadは、パソコン環境のないところでも気軽に使えるので、マルチメディアDAISY図書をより身近なものに感じられるように思います。それは、子どもたちのやる気にもつながると思いました。

1学期は、5月から7月までに4回取り組みました。ワークシートは、同

じものを使うことで、書くことや読む時の観点を意識でき、見通しをもって取り組めるようでした。

読んだ後で気持ちについて書く際には、感情を表す言葉をいくつか書いておき、自分の感情にあう言葉を選んで書くようにしました。

継続することで書くことに慣れ、くわしく書けるようになってきています。読むことに慣れるために、夏休み中も継続して自分が関心のあるマルチメディアDAISY図書を視聴するようになりました。



5月と7月のワークシート

2学期後半からは、ワークシートに「問い」と「答え」などを取り入れたり、() を使って言葉を抜き出して書かせたりする取り組みをしました。子どもたちは、視聴後にワークシートに書くことを意識しているようで、次第に内容や言葉を意識して聞こうとする姿が見られるようになってきました。そして、書くことにも慣れてきたように思います。



iPadを視聴している児童

まとめ

今年度は、担任や学校図書担当、学校司書だけでなく、にこにこサポートティーチャーとも連携して情報を共有し、子どもたちの学びに生かすことができました。連携の輪がますます広がってきたと思います。また、iPadを使った取り組みも取り入れられたことで、より充実した取り組みもできました。

4年間の取り組みをするなかで子どもたちは、マルチメディアDAISY図書を身近なものに感じてきているように思います。子ども一人ひとりが、さまざまな読書の方法を知っておくことは、自分にふさわしい読書の仕方を見つけるしていくことにつながっていくのではないかと考えています。

今後の活用と課題

朝読書の際の活用やiPadを使った取り組みは、継続していくことで効果が高まっていくと思われます。学習へのつながりをつけていくために、教科書に載っている読み物教材や短時間で読み切ってしまう読み物を今後もマルチメディアDAISY化していただけることを望みます。